

## ドイツ（欧州）環境規制調査 望月浩二

Mochizuki, K., Martin-Luther-Platz 13, 50677 Köln, GERMANY

Tel: +49-2 21-3404149

Email: [kmochi3@gmx.net](mailto:kmochi3@gmx.net)Website: <http://www.mochizuki.de/>

2011年10月31日

## ドイツ・欧州環境規制動向（2010春～2011秋）

●は大項目、◎は中項目、○は小項目を指します。この目次に対応するプレゼンテーションファイルはm1372.pptです。内容の改良のために、予告なく一部を変更する可能性があります。

## 《目次》

- ドイツの景気 2010～11年
- ドイツ連立政権の環境政策
  - ドイツ連立政権：2009秋の総選挙でCDU/CSUとFDPの保守連立政権が発足、任期は4年間。首相メルケル(CDU)、環境相ノルベルト・レトゲン(CDU)
  - ドイツの脱原発事情 2011 (m1373.ppt)：実行(18 slides) or 実行(6 slides) or スキップ
  - 国民の環境意識調査 2010（隔年実施）の結果紹介：ごみ分別回収に協力、エコ電力を購入 etc.
  - エネルギー政策
    - 脱原発&温暖化対策のためのエネルギー政策／再生可能エネルギー利用の可能性／2030年までの再生可能エネルギー発電計画／再生可能エネルギー発電の発展とそれを可能にした法整備／北海とバルト海のオフショア風力発電計画／100%再生可能エネルギーの自治体と地域
  - 温暖化対策：政府施策／自治体の気候保全／第5回グリーンIT会議 2011/5/18, ベルリン：カーシェアリングプロジェクト“car2go”（ダイムラー社）など／自治体が貸し自転車を提供／京都議定書の指定する6種類の温暖化ガスのドイツからの放出量の推移 1990～2020／2009～10年度温暖化ガス放出量の日独比較
  - ドイツのエコラベル「ブルーエンジェルマーク」情報：ブルーエンジェルを4つのカテゴリーに分類／新しいブルーエンジェル／連邦政府の調査「ドイツ国民の環境意識 2010」におけるブルーエンジェル、公共の調達におけるブルーエンジェル／PCF - Product Carbon Footprint とブルーエンジェル
- ドイツの環境規制動向
  - ◎ 循環経済法
    - 循環経済・廃棄物法の改定／循環経済・廃棄物法の第22条
    - 包装リサイクル政令：EU諸国における使用済み包装の廃物処理費用、単位：Euro-Cent / kg／飲料包装：ワンウェイがリターナブルを駆逐、ドイツ、2009年
    - ごみ回収システム：地下式ごみ自動真空吸引輸送システム
    - ごみ分別システム：乾燥安定化ごみ分別プラント
    - 電池リサイクル法：EU電池指令 2006/66/ECのドイツ国内法の施行状況
    - 究極の材料循環：“Cradle to cradle (=C2C)” ゆりかごからゆりかごへ、C2C認証、日本企業も取得
    - 生分解性プラスチック：生分解性プラのレジ袋(1/2)(2/2)／米国の学術論文：「植物ベースのプラは必ずしも、石油ベースのプラよりもグリーンとは言えない。」
  - ◎ 化学品政策
    - ケミカル・リーシング(1/2)(2/2)
    - 化学品安全：化学品禁止政令／ドイツのGSBLがインターネットで公開（GSBL＝連邦と州の共同利用の中央物質データプール）
  - ◎ 環境と健康：複写機・レーザプリンタの健康問題(1/7)(2/7)(3/7)(4/7)(5/7)(6/7)(7/7)
  - ◎ その他：ドイツ環境賞 2011
  - 欧州（EU）の環境規制動向
    - ◎ エネルギー&気候保全政策：EU気候&エネルギー・パッケージ「EUの20-20-20ターゲット」
    - ◎ 20%再生可能エネルギー：DESERTEC Industrial Initiative (DII)が立案中(1/2)(2/2)
    - ◎ 20%省エネ：EUのゼロエネルギー・ハウス指令(1/2)(2/2)／エネルギーを消費する製品(EuP)のエコ設計指令
    - ◎ 廃棄物政策
      - 循環経済：廃棄物枠組み指令の改定版 2008/98/EC が OJ 告示／WEEE/RoHS recast（改定）
      - 臭素系難燃剤規制(RoHS)：BFR プラスチックの諸問題
    - ◎ 化学品安全：フランスの独自立法：フランスが食品包装プラ中のビスフェノールAを全面禁止する法案を準備
    - ◎ IPP (Integrated Product Policy)
    - 国連の環境政策：生物多様性条約(1/2)(2/2)

□文献リスト

2011年10月31日

**ドイツの脱原発事情 2011**

この目次に対応するプレゼンテーションファイルは m1373.ppt です。内容の改良のために、予告なく一部を変更する可能性があります。◎\*の項目は、short version の項目です：m1373 short.ppt。

## 《目次》

- ◎\* 表紙
- ◎ 世界の原発の一連の深刻事故がドイツの脱原発運動の原因
- ◎ チェルノブイリ事故がドイツ反原発運動の引き金に：チェルノブイリ原発事故によるドイツの土壤の放射能汚染／チェルノブイリ原発事故による欧州の土壤の放射能汚染
- ◎ ドイツ反原発運動の成果が結実：2002: 脱原発合意(SPD+Green: 脱原発=2034)、ところが、国民の意志を無視して保守連立政権が 2010: 脱原発先延ばし合意(CDU+FDP: 脱原発=2047)
- ◎\* 福島原発事故：2011年3月12日～
- ◎\* ドイツ国民の福島原発事故への反応：各地で即時脱原発を要求する集会。「福島は警告する。すべての原発を廃炉しよう！」
- ◎\* ドイツ連立政権の福島原発事故への反応：メルケル首相：「日本のようなハイテクの国でこのようなことが起こったからには、我々は考えを改めなければならない」⇒ 脱原発を加速して 2022 年までにこれを完了するべく政策を変更して、2011年6月30日にはそれを脱原発法の再度の改定によって確定。
- ◎\* ドイツの脱原発年表
- ◎ ジャーマン・アングスト（心配）は根拠のないヒステリー現象か（その1）：物理学的検討
- ◎ ジャーマン・アングスト（心配）は根拠のないヒステリー現象か（その2）：リスク社会学的検討
- ◎\* チェルノブイリ級の原発事故がドイツの原発で発生した場合の被害の予想はどうか：人口密度がチェルノブイリの立地するウクライナの7～10倍のドイツでは人的被害は甚大で、ドイツ連邦経済省の委託研究などによる推定：ガン死亡者の数は170万人～1200万人。結論：大事故を心配するのはむしろ当然のことであり、ヒステリーではない。
- ◎ 原発は正常運転していてもリスクが大きい
- ◎ リスク以外にも一連の脱原発のための理由
- ◎ 脱原発を可能にする一つのオプション：再生可能エネルギー(RE)
- ◎ RE 発電による脱原発と温暖化対策
- ◎ ドイツの目指すエネルギー改革（含む、脱原発プロジェクト）
- ◎\* 3・11 福島原発事故の欧州へのインパクト：ドイツ、スイス、イタリア、ベルギー／参考：フランスの NGO “négaWatt” の脱原発エネルギー改革プラン